

「未来のまち」「未来のインフラ」を構築

社会実装まで繋いでいく

内閣府が進める戦略的イノベーション創造プログラム（SIP）は昨年度から第3期として14課題に取り組んでいる。橋梁関係では「スマートインフラマネジメントシステムの構築」のサブ課題C、e2のPM（プロジェクトマネージャー）である北海道大学大学院工学研究院の長井宏平教授に各課題の内容を聞いた。（永島誠司）

インタビュー



SIP PM
北海道大学大学院工学研究院教授

長井 宏平氏

——戦略的イノベーション創造プログラム（SIP）第3期の「スマートインフラマネジメントシステムの構築」について

長井教授 東北大学の久田真教授がプログラム

ディレクター（PD）を務める「スマートインフラマネジメントシステムの構築」にA～Eの5つのサブ課題が設定され研究開発が始まり、5年プロジェクトの2年目に入ったところだ。土木研

——サブ課題について

長井 革新的な建設生産プロセスを構築するサブ課題Aグループ。インフラのメンテナンス予防

——サブ課題について

長井 革新的な建設生産プロセスを構築するサブ課題Aグループ。インフラのメンテナンス予防

——サブ課題について

長井 革新的な建設生産プロセスを構築するサブ課題Aグループ。インフラのメンテナンス予防

——サブ課題について

ヒューマンリソース活用 地方自治体などを意識

——サブ課題について

長井 革新的な建設生産プロセスを構築するサブ課題Aグループ。インフラのメンテナンス予防

——サブ課題について

長井 革新的な建設生産プロセスを構築するサブ課題Aグループ。インフラのメンテナンス予防

自治体応募でモデルケース 群マネ技術版のイメージ

——サブ課題について

野の生産性向上の技術や劣化を診断したり、補修したりするためのより良い高度な技術が必要となります。加えてデジタル

ツインの構築のための技術も必要です。さらには野の生産性向上の技術や劣化を診断したり、補修したりするためのより良い高度な技術が必要となります。加えてデジタル

組みが国や地方自治体に必要となります。その整合性を一貫させるために様々な社会データなども合わせてデータを活用することと考えています。

このサブ課題のスマートインフラによる魅力的な国土作り、特にこのe2ではエビデンス・ベール・ポリシー・メイキング（EBPM）証拠に基づく政策立案」といういくつかについて、インフラ手法に則り、データ分析

このサブ課題のスマートインフラによる魅力的な国土作り、特にこのe2ではエビデンス・ベール・ポリシー・メイキング（EBPM）証拠に基づく政策立案」といういくつかについて、インフラ手法に則り、データ分析

このサブ課題のスマートインフラによる魅力的な国土作り、特にこのe2ではエビデンス・ベール・ポリシー・メイキング（EBPM）証拠に基づく政策立案」といういくつかについて、インフラ手法に則り、データ分析

このサブ課題のスマートインフラによる魅力的な国土作り、特にこのe2ではエビデンス・ベール・ポリシー・メイキング（EBPM）証拠に基づく政策立案」といういくつかについて、インフラ手法に則り、データ分析

